

「市民健康等意識調査」・「糖尿病実態調査」の概要

1 調査目的

「市民健康等意識調査」は、市民の基本的な生活習慣や健康に関する意識、健康状態、健康づくり活動の促進要因を把握し、また、「糖尿病実態調査」は、糖尿病または糖尿病の疑いのある市民に対し、糖尿病に関する本人の認識度や検査結果の説明の有無、検査治療を受けていない理由などを把握することで、健康うつのみや21の目標達成度評価や目標値の改定を検討し、また、保健施策運営や健康づくり事業の見直しの基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査の方法等

【市民健康等意識調査】

調査は、3種類の調査票を用いて行った。

一般市民調査

中学・高校生調査

幼児・小学生調査（保護者による代理記入）

調査設計等は次のとおりである。

	【一般市民調査】	【中学生・高校生調査】	【幼児・小学生調査】
調査対象	宇都宮市内に居住する 無作為で抽出した18 歳以上の男女個人 (6,300名)	市内の中学生・高校生 (2,345名)	市内の幼児・小学生 (保護者による代理 記入) (1,431名)
調査方法	郵送配付 - 郵送回収 (礼状兼督促ハガキ1 回収)	学校経由で配付(5/10 ～ 5/11) - 回収 (5/25～5/26)	幼稚園・保育園及び学 校経由で配布(5/10 ～ 5/11) - 回収 (5/25～5/26)
調査期間	5月11日～5月26日	5月	5月

	【一般市民調査】	【中学生・高校生調査】	【幼児・小学生調査】
調査項目	健康に関する生活習慣等について ふだんの食生活について 運動のようすについて 休養やこころの健康について たばことアルコールについて 歯の健康について 地域での健康づくり活動について 対象者の属性	健康についての考え方や暮らしについて ふだんの食生活について 運動のようすについて 休養やこころの健康について たばことアルコールについて 歯の健康について 対象者の属性	子どものふだんの食生活について 子どもの生活習慣や運動について 子どもの歯の健康について 子育てに対する保護者の考えについて 子どもの属性 保護者の属性

【糖尿病実態調査】

調査は、「糖尿病」または「糖尿病の疑わしい者」とした

(平成17年度基本健康診査結果から、空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.1%以上)

調査設計等は次のとおりである。

調査対象	平成17年度基本健康診査結果から、 空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.1%以上の人を抽出 (3,357人)
調査方法	郵送配付 - 郵送回収
調査期間	平成18年7月14日～8月1日

調査項目	糖尿病の合併症について 検査結果について説明を受けたか 医師にどう診断されているか 糖尿病と診断されてからの年数 医療機関の受診状況 現在，検査治療を受けていない理由 生活改善の改善のための取組状況 食事療法指導の有無 対象者の属性 対象者の健診結果（数値）【空腹時血糖値及び HbA1c】
-------------	--

3 回収状況

回収結果は以下のとおりである。

【市民健康等意識調査】

	【一般市民調査】	【中学生・高校生調査】	【幼児・小学生調査】
標本数 (A)	6,300 人	2,345 人	1,431 人
総回収数 (B)	2,806 人	2,231 人	1,208 人
有効回収数 (C)	2,799 人	2,225 人	1,206 人
(無効回収数)(D)	7 人	6 人	2 人
総回収率 (B/A)	44.5%	95.1%	84.4%
有効回収率 (C/A)	44.4%	94.9%	84.3%

【糖尿病実態調査】

標本数 (A)	3,357 人
総回収数 (B)	2,188 人
有効回収数 (C)	2,181 人
(無効回収数)(D)	7 人
総回収率 (B/A)	65.2%
有効回収率 (C/A)	65.0%